

作業開始前点検要領

安全への第一歩・作業開始前には必ず点検を! エンジン式フォークリフト

外まわりの点検

■点検前の確認事項

- ア) 平坦な場所に停車。
- イ) パーキングブレーキをかける。
- ウ) フォークは床面まで下げる。
- エ) キースイッチOFF。

〈準備品〉

- タイヤ空気圧計
- ハブナットレンチ
- ウエス

① 水漏れ、油漏れ



目視

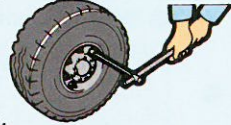
②

タイヤ、リム



空気圧、損傷、亀裂、摩耗

③ ハブナット



緩み

④ ランプ



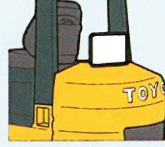
球切れ、レンズの割れ

⑤ バックミラー



汚れ、破損、角度

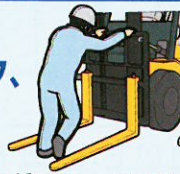
⑥ ナンバープレート



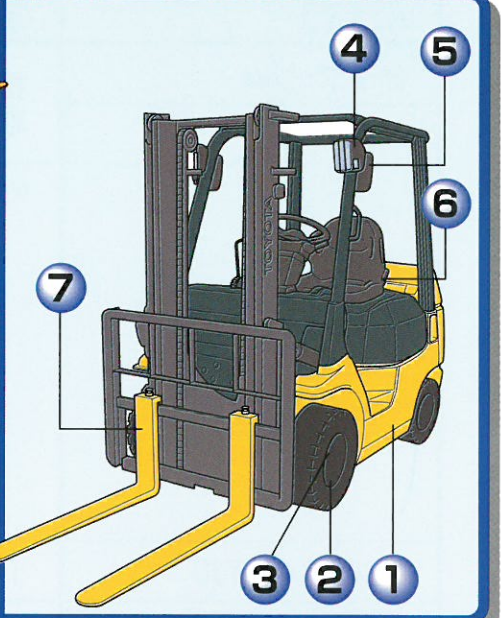
汚れ、損傷

⑦

フォーク、バックレスト



損傷、曲がり、緩み、チェーンの張り



エンジルームの点検

① 冷却水

水量

② 作動油

油量

③ エンジンオイル

油量

車上での点検 (エンジン始動後)

① 荷役装置

作動具合、油漏れ

② ブレーキフルード

液量、漏れ

③ ブレーキペダル

遊び、効き

④ パーキングブレーキ

レバーの操作力、効き

⑤ クラッチペダル

遊び、クラッチのすべり

⑥ 各計器

各計器の作動、燃料の残量

⑦ エンジン

異音、振動、排気色、におい

⑧ ステアリングホイール

遊び、ガタ

⑨ ホーンボタン

音量

※点検要領の詳細については裏面の「作業開始前点検要領」をご覧ください。



注意

- エンジンが暖まっているとき、ラジエーターキャップをはずすことは危険です。点検はエンジンが冷めてから行ってください。キャップをはずすときは、ゆっくりまわし内圧を逃がしてください。
- 油圧系統の油温が高いとき、熱いガスが噴き出す危険がありますから、必ず内圧を逃がしてから点検してください。
- （内圧の逃がし方）
 1. フォークを地面に降ろす。
 2. キースイッチをOFFにする。
 3. 操作レバーを2〜3回動かす。
 4. キャップをはずすときは、ゆっくりまわす。
- 燃料を補給する際は、必ずエンジンを止め、火気を絶対に近づけないようにしてください。
- タイヤ空気圧は指定以上に上げてはいけません。
- 小さな故障も重大な事故の原因となります。少しでも異常が感じられる車両は、管理者に報告し、修理が完了するまでは、絶対に運転しないでください。

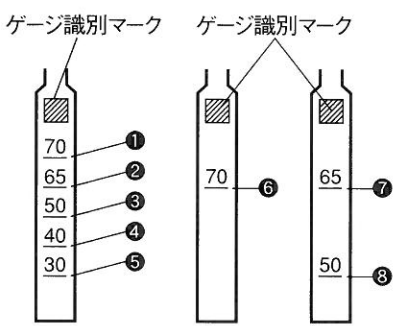
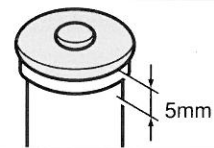
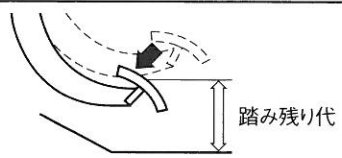
●お問い合わせ先

始業点検、安全運転講習会、その他ご要望等お気軽にご用命下さい。

TOYOTA L&F

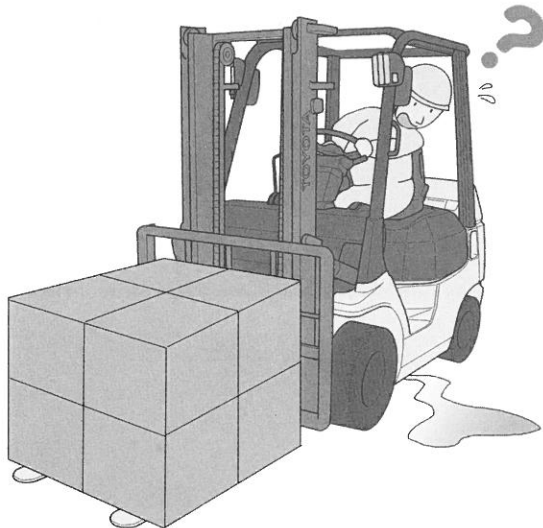
作業開始前点検要領

エンジン式フォークリフト

項目	判定基準																
タイヤ・リム ハブナット	指定空気圧・ハブナットの締め付けトルクは車種によって異なりますので取扱説明書のサービスデータを参照してください。																
作動油	<p>ゲージ識別マーク</p>  <p>① 揚高7,000mm ② 揚高5,500mm～6,500mm ③ 揚高4,300mm～5,000mm ④ 揚高3,300mm～4,000mm ⑤ 揚高3,000mm以下 ⑥ 揚高7,000mm以下 ⑦ 揚高5,500mm以下 ⑧ 揚高5,000mm以下</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>ゲージ識別マーク</th> <th>適用機種</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,K2,K3</td> <td>7FG15系、7FGK25系、7FGK30系</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>7FG25系 (2Zエンジン車を除く)</td> </tr> <tr> <td>Z (裏面2)</td> <td>7FD25系 (2Zエンジン車)</td> </tr> <tr> <td>3,J3</td> <td>7FG30系、7FGJ35系 (2Zエンジン車を除く)</td> </tr> <tr> <td>Z (裏面3,J3)</td> <td>7FD30系、7FDJ35系 (2Zエンジン車)</td> </tr> <tr> <td>35,K4</td> <td>7FD35系、7FDK40系</td> </tr> <tr> <td>40,45,50</td> <td>7FD40系、7FD45系、7FDA50系</td> </tr> </tbody> </table>	ゲージ識別マーク	適用機種	1,K2,K3	7FG15系、7FGK25系、7FGK30系	2	7FG25系 (2Zエンジン車を除く)	Z (裏面2)	7FD25系 (2Zエンジン車)	3,J3	7FG30系、7FGJ35系 (2Zエンジン車を除く)	Z (裏面3,J3)	7FD30系、7FDJ35系 (2Zエンジン車)	35,K4	7FD35系、7FDK40系	40,45,50	7FD40系、7FD45系、7FDA50系
ゲージ識別マーク	適用機種																
1,K2,K3	7FG15系、7FGK25系、7FGK30系																
2	7FG25系 (2Zエンジン車を除く)																
Z (裏面2)	7FD25系 (2Zエンジン車)																
3,J3	7FG30系、7FGJ35系 (2Zエンジン車を除く)																
Z (裏面3,J3)	7FD30系、7FDJ35系 (2Zエンジン車)																
35,K4	7FD35系、7FDK40系																
40,45,50	7FD40系、7FD45系、7FDA50系																
エンジンオイル	「L」以上「F」以下																
ブレーキフルード	上面より5mm以上 																
ブレーキペダル	遊び3～7mm 踏み残り代 90mm (踏力 約30kg時) 																
クラッチペダル	遊び5～10mm (オイル)10～15mm 3.5t以上3～7mm																

作業開始前点検を怠ると次の様な事故の危険性があります。

オイルの点検はしっかりと



ブレーキの点検を怠ると



